

出前授業『せんせいっていいもんだ』を開催

千葉県高等学校工業教育研究会では、12月16日（火）、県立千葉工業高等学校を会場に、高校生を対象とした出前講座『せんせいっていいもんだ』を開催しました。

当日は、教員を志望する生徒など10名（千葉工業7名、東総工業2名、茂原樟陽1名）が参加し、参加した生徒は教員の仕事に対する理解を深め、進路選択の幅を広げることができました。

今後も、教職の魅力をたくさん発信し、生徒の多様な進路選択を支援する機会を継続していきます。一人でも多くの生徒が千葉県の教職を目指してほしいと思います。

プログラム内容

第1部：教職員課担当者からの説明

○千葉県が求める教員像、教員免許状の種類や取得方法、教員採用試験の流れなどについて説明がありました。



第2部：工業高校卒業の現役教諭による講話

○教員を目指したきっかけや、日々の仕事のやりがい、休日の過ごし方など、リアルな体験談を聞くことができました。



第3部：座談会・質問コーナー

○生徒からは「人と話すのが苦手だが、どうしたら上手に話せるか」など、コミュニケーションに関する質問が多く、講師からは「実践あるのみ。子どもと話す中で自然と身につく」とのアドバイスがありました。

○参加者は「教員の色々なことが知れて面白かった」「体験談を聞いてよかった」と積極的な姿勢が見られました。



感想

★ 生徒の感想

- ・ コミュニケーション能力はたくさん話すことで身につくと分かった。
- ・ 教員の仕事について知らなかったことや意外なことを知れてよかった。
- ・ 実際の体験談が聞いて参考になった。
- ・ 参加者全員が「教員に興味を持てた」と回答しました。

★ 講師の感想

- ・ 自分の体験だけでなく、高校・大学時代のことをもっと伝えるべきだった。
- ・ 工業高校で進路を迷う生徒にも、教員という選択肢の意義を伝える機会にできてよかった。
- ・ 工業高校卒業の現役教諭となった教え子が堂々と話す姿に、改めて教員のやりがいを感じた。

お問い合わせ先：千葉工業高校